

健康・医療戦略について

平成25年5月22日

内閣官房長官 菅義偉

これまでの取組：スピードと実行力

- 健康・医療分野は各省にまたがる問題であり、関係府省が一体となった戦略的な取組が必要。
 - 2月に、官房長官の直轄組織として、健康・医療戦略室を内閣官房に設置。
- 総理指示などを受け、関係府省の利害が複雑に絡み合う案件について、スピード感をもって具体策をとりまとめ。
 - **4月2日の経済再生本部における総理指示とその対応**
 - **医療分野の研究開発の司令塔機能の創設**
 - ⇒「日本版NIH」の骨子をとりまとめ、4月23日の産業競争力会議に報告。
 - ⇒有識者（健康・医療戦略参与等）の意見も聴きながら、同骨子に基づき、関係府省と詳細な制度設計のあり方についての検討に着手。今後は、この検討結果を概算要求等に反映し、司令塔機能創設に向け、所要の手続きを進める。
 - **日本の医療技術・サービスを国際展開するための中核組織の創設**
 - ⇒「一般社団法人MEJ（Medical Excellence Japan）」の骨子をとりまとめ、4月23日の競争力会議に報告。
 - ⇒ロシアやUAEにおいて、総理自らがトップセールスを実施。引き続き、こうしたトップセールスも活用しながら、案件組成に向けた取組を精力的に実施。
 - **健康・医療分野におけるICTの利活用策のとりまとめ**
- 政府として戦略的に取り組むため、健康・医療分野の成長戦略として、健康・医療戦略を策定。
 - 6月半ばのとりまとめに向け、有識者（健康・医療戦略参与）の意見も聴きながら、最終作業中。

健康・医療戦略の骨子

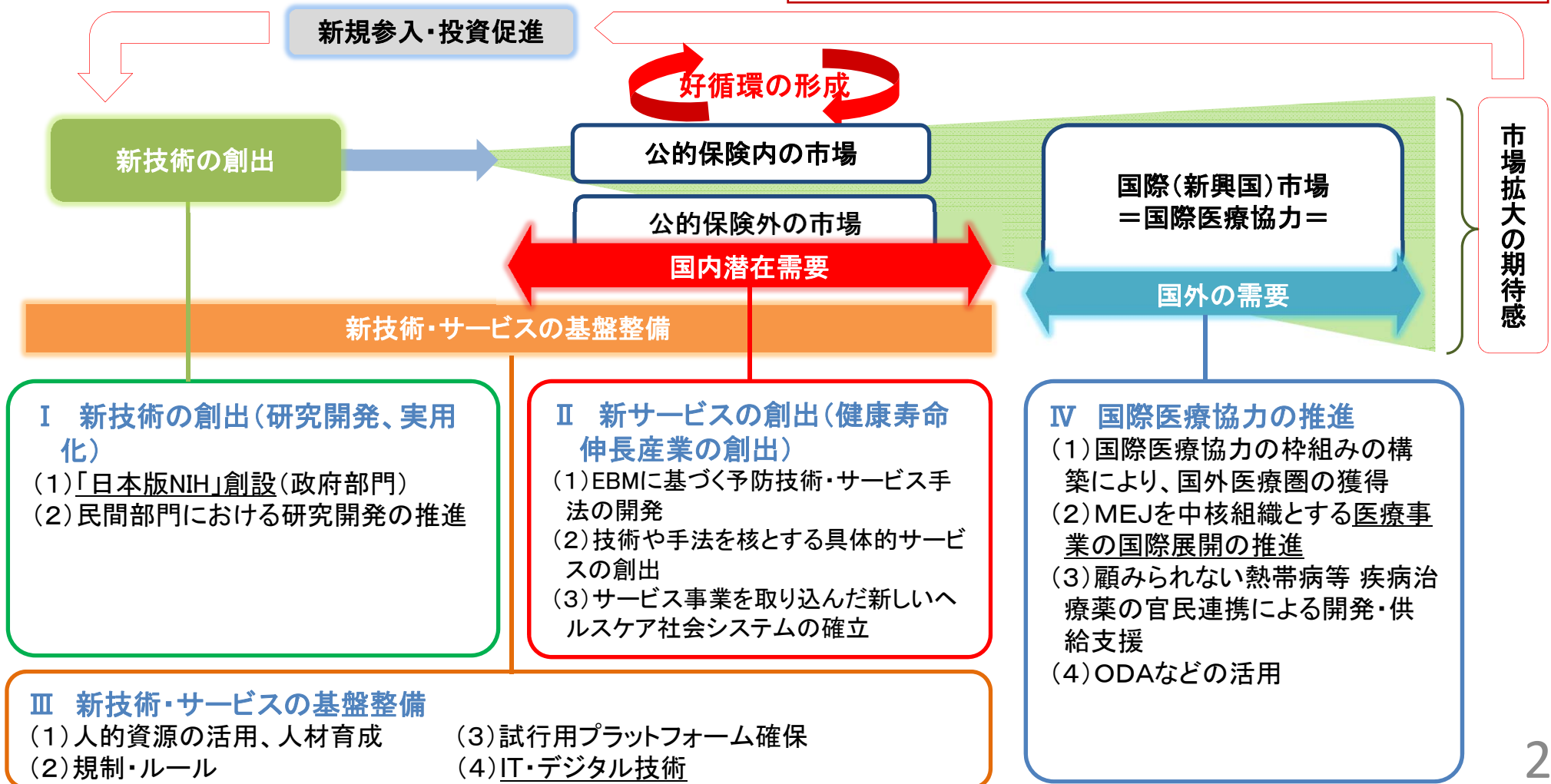
1. 基本的理念

- (1) 健康長寿社会の実現
- (2) 経済成長の寄与
- (3) 世界への貢献

2. 戦略実施にあたっての視点

- (1) 政策の重点化
- (2) 効果的・効率的な政策手段の採用
- (3) PDCAの徹底
- (4) 民間の活力
- (5) 実行力

3. 具体的なアプローチ



健康・医療分野の課題と主なICT利活用策

【健康・医療分野の課題】

【主なICT利活用策】

1. 患者の利便性・安全性の向上



- 1-① 医薬品の副作用データシステム [具体例①]
- 1-② 一般用医薬品のネット販売
- 1-③ 地域でのカルテ・介護情報の共有
- 1-④ 電子化したお薬手帳、母子手帳(予防接種歴等)の活用
- 1-⑤ 医療用医薬品の処方せん電子化に向けた実証事業

2. データの利活用による質の高い健康寿命延長サービス等の実現



- 2-① レセプト等データの利活用促進 [具体例②]
- 2-② 地域でのカルテ・介護情報の共有や、重複受診・検査の是正やかかりつけ医と病院の機能分担の円滑化などによる、医療費適正化
- 2-③ 個人の生涯にわたる医療データの管理・活用に向けた実証事業

3. データの利活用による医療政策の質の向上と研究基盤の強化



- 3-① レセプト等データの利活用促進 (再掲) [具体例②]
- 3-② 医薬品の副作用データシステム (再掲)
- 3-③ 地域でのカルテ・介護情報の共有 (再掲)
- 3-④ 臨床研究・治験のデータベース構築
- 3-⑤ 特定健診・保健指導や医療技術等の効果分析

4. ICTの利活用による医療費の適正化



- 4-① レセプト審査の充実・強化 [具体例③]
- 4-② レセプト等データの利活用促進 (再掲) [具体例②]
- 4-③ 地域でのカルテ・介護情報の共有や、重複受診・検査の是正やかかりつけ医と病院の機能分担の円滑化などによる、医療費適正化 (再掲)
- 4-④ 電子化したお薬手帳の活用 (再掲)

(注1) 本資料は、社会保障国民会議、経済財政諮問会議、産業競争力会議、規制改革会議、健康・医療戦略参与会合等で示された提言に対応したICT利活用策を整理したものである。

(注2) 「健康・医療分野における主なICTの利活用策のイメージ」(次ページ)に該当する項目番号を引用。

